

看護学科

科目名: 東洋医学概論			担当教員 氏名: 柴原 直利、四日 順子、室谷 良子						
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考				
1	2年次 後期	専門基礎科目	講義	選択					
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:									
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード				
<p>【柴原】 本邦は超高齢者社会を迎えるにあたり疾病構造が変化し、伝統医学の役割が再認識されている。東洋の伝統医学と近代西洋医学とは病態の認識方法や治療概念が大きく異なり、伝統医学の体系と近代医学との調和をいかに推進していくかが今後の重要な課題となる。そこで、東洋医学の全体像を理解することを目標とする。</p> <p>【四日】看護の中心概念と東洋医学の心身一如の概念は類似している。本講義では、心と身体を統合的に捉える全体性を理解し、ひとが本来持つ治癒力を促進するケアについて理解する。</p> <p>【室谷】 古くから家庭で伝えられてきた、血の道療法の手わざ法の一部を取り入れ、いつでも、どこでも、誰でも、簡単に、短時間で実行でき、ケアする人もされる人も負担の少ない疲れにくい方法を提案します。この方法は、身体を温めることで、活動しやすくなり、活動することで自然治癒力を蘇らせ、心身の活性化を図ります。病のある人やあるいは病気がないにもかかわらずどこか体調の優れない方々への適用はもちろんのこと、現在健康であるがさらに健康的に生活したい方々にも提案することができます。医療に携わる皆さんは、まずは自分自身が心身共に健康であることが求められます。本シリーズでは、まずは、自分自身の身体を調整する方法を知ること、そして、健康問題に様々な反応を示す人々の苦痛や不安、心配事が最小限になるためのケアの一部を紹介しします。これらのケアによる実証や臨床結果も併せてお伝えします。</p>					東洋医学 漢方薬 全体性 治癒力の促進 非薬物療法 爪ぎり マッサージ フットケア 血の道療法 伝統医学				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 5. 6. 7. 8. 9.					
A 知識・理解力		<ol style="list-style-type: none"> 東洋医学と西洋医学における「病態認識」及び「治療概念」の違いを理解する。 東洋医学における「診断法」を理解する。 臨床における漢方薬の利用状況(主要な対象疾患と頻用方剤、副作用などの問題点など)を理解する。 西洋医学では解決のつかない健康問題をもつ対象への非薬物療法について理解する 							
B 専門的技術		<ol style="list-style-type: none"> 臥床時の体重のかかり方を均等にするためのタオルの使い方を体験する 爪根に平行な爪の中心のとおり方を体験する 爪の周囲のマッサージを行うことができる 家庭用爪切り及びニッパーを用いた爪ぎり法を体験する 臨床で活用できる簡単なマッサージを体験する 一日の疲れを簡単にとる方法を体験する 							
E 自己管理能力									
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	%	発表:	%	実技試験:	%	その他:	%
特記事項: 【柴原】出席状況と授業毎に行う小試験の結果により成績を評価する。 【四日】出席状況とレポートにより評価する 【室谷】出席状況とレポートにより評価する テスト:50% その他:50%									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:【柴原】授業毎の最後に小テストを行う									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:採点し返却する									
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)						
			学習内容	学習に必要な時間(分)					
【柴原】									
①現代医療における東洋医学の役割と漢方医学的概念(1)「陰陽虚実」			【予習】事前配布の資料を読んでおきましょう。						
②漢方医学的概念(2)「気血水論」と漢方医学的診察法			【復習】学んだことで、自分の体調を診断してみましょう。						
③漢方方剤の成り立ちと頻用方剤、副作用について									
【四日】									
④全体性の理解と治癒力促進のケア			【復習】自分の体調の変化を東洋医学的に感じてみましょう。						
【室谷】									
⑤臥床時の体重のかかり方を均等にするとタオルの置き方の体験			【予習】自分の身体の冷えや歪みを感じてみましょう。						
⑥爪の周囲のマッサージ、爪根に平行な爪の中心のとおり方、切り方の体験			【復習】学んだことを日常生活の一部に取り入れていきましょう。						
⑦臨床で活用できる簡単なマッサージ体験									
⑧一日の疲れを簡単にとる方法の体験									
使用テキスト: 必要に応じて資料を配布します			その他参考文献など:【柴原・四日】「絵でみる和漢診療学」JUNスペシャル 寺澤捷年 著(医学書院) 【室谷】「からだのスーツと楽になる全身ケア」室谷良子 著(メトロポリタンプレス)、「ピクチャーブック 爪のケア・手足のケア技術」室谷良子 監修(看護の科学社)						
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 【柴原】1. 東洋医学の心身一如の理念を理解して欲しい。 2. 東洋医学的病態を判断した上での漢方方剤による治療体系を理解して欲しい。 【室谷】身近なタオルや用具を使用して、簡単にできるケアの方法を提案します。ご自身のため、またご家族のため、病の人へのケアのため、是非試してみてください。【四日】東洋医学的な体質傾向を知ることで、自身の体調を整える技を持つとともに、患者のアセスメントに応用できることを目指しましょう。									